David Ezzy は、フォイルの虜になり、そして Hydra を作った！

フォイルは、セイルデザインのための新たなチャレンジの扉を空けてくれた。フォイルとノーマルウインドサーフィンには、根本的な違いがあるのだ。Hydra とノーマルセイルの外観が違うのはそのせいだ。フォイルとノーマルウインドサーフィンとの大きな違いは、フォイルは、進行風（見せかけの風）よりも前方にシフトした角度からの風によって、水の抵抗をほとんど受けずに”飛行”する。つまり風を受ける角度がフォイルとノーマルウインドサーフィンでは全く違うのだ。次に、フォイルを浮かすためには、パンプアップ（セイルをパンピングしながらボードを漕ぐような動作）する為にパワフルなセイルが必要だが、いったん浮いてしまえば、軽いセイルで簡単に楽にコントロールできることが望ましい。更なる違いは、フォイル飛行中、あなたは水面よりも上にいるということ。外観の大きな違いは、長く伸びたフット部だ。これはジェット機の”ウイングレット”（航空機の主翼端に取り付けられる小さな翼）の機能とよく似ており、このフット部は航空力学的にエンドプレート（垂直尾翼）の役割があり、フォイル用セイルとしての機能効率を著しく向上させている。例えば David の場合、通常ノーマルセイル 6.0 でライディングできるコンディションにおいて、Hydra では 4.0 で飛行することができる。このように Hydra の長いフット部は、水面の上を飛行している時に効率よく機能するだろう。長いフットは、ノーマルセイルのキャンバーやブーム直下のバテンパーツ等の 1 kg 程の重量を減らし、フォイルで飛行するために必要なローエンドパワーを効率的に機能させることができる。よって、より小さく、より軽いセイルでのセイリングを可能にすることで、手に及ぼす負担や感覚をほとんど感じることなく、よりファンなフォイル飛行を楽しむことができる。

≪David Ezzyが目指すHydraの5つのゴール≫

1）ノーマルセイルより効率的に機能する
2）ノーマルセイルよりガスティーコンディションにも敏感に順応
3）より早く浮き上がるための有効パワーおよび飛行中の操作性能の高さ
4）簡単にパワーオフできる性能
5）超軽量化

また長いフットは、セイルをより安定させる効果もある。飛行中のガスティーウインド状況下でもバランスを崩すことなく、より楽に、より簡単にセイルコントロールできる。
と同時に、セイル全体ではなく、伸びた長いフット部だけを引き込めるので、セイルは前方にそのまま残り、より心地良いフォイルセイリング体験をすることができるのだ。Hydra は、ハードコア WAVE セイル”Taka”の 3/4 バテンコンセプトを採用、この 3/4 バテンが、セイル（パワー）の ON（フルフォイル）・OFF（フラットフォイル）をし易くし、フォイル飛行時の様々な状況下でのイージーライドに大きな役割を果たしている。　これは飛行を維持する為に、より”ON”パワーが必要な時のパンピング時に有効だし、飛行中は”OFF”フラットで好反応だ。
Hidra が 3/4 バテンである理由は、簡単にパワーの ON / OFF ができ、フォイル飛行に必要なパワーが欲しいときにそのフォイルシェイプに容易に変換できるからだ。アップウインドではフラットにできるし、ダウンウインドではフルフォイルでフルパワーにできるのだ。3/4 バテンは、アウトホールテンションの調整をすることなく、これら ON/OFF 両方の性能を状況に応じて生じさせることができるのだ。
Hydra は、パンピングし易い、しなやかなフォイルに仕上げるために伸縮率の高い”Tri-lite クロス”をセイル面積の大部分に使用している。

Size ㎡	Luff Min	Luff Max	Boom Med	Boom Med	Ezzy Mast Base / Top	Base Extension	Price 【税別】
4.0	353	358	131	141	340 / 340	14 - 18 cm	¥104,000
5.0	395	400	151	164	370 / 400	10 - 16 cm	¥109,000
5.5	413	418	158	172	400 / 400	14 - 18 cm	¥112,000
6.0	434	439	166	179	400 / 430	20 - 24 cm	¥115,000
7.0	TBA	TBA	TBA	TBA	TBA	TBA	TBA